Media Cento IPX HD 簡易マニュアル

基本設置・WEB GUI操作

BLACK B

ブラックボックス・ネットワークサービス株式会社

2022年12月

出荷状態で利用できる構成(1対1構成)



※ 初期設定では 169.254.0.0 / 16 の範囲でIPアドレスの自動設定と探索を行います。
 ※ トランスミッタとレシーバのチャネル (ID) は同じ (初期は0) にする必要があります。



出荷状態で利用できる構成(1対多構成)

間接接続(TCP/IPネットワーク) レシーバ (ID 0) L2スイッチ レシーバ (ID 0) トランスミッタ (ID 0) レシーバ (ID 0)

- ※ 初期設定では 169.254.0.0 / 16 の範囲でIPアドレスの自動設定と探索を行います。
- ※ トランスミッタとレシーバのチャネル (ID) は同じ (初期は0) にする必要があります。



出荷状態で利用できる構成(多対多構成)

間接接続(TCP/IPネットワーク) レシーバ (ID 0) トランスミッタ (ID 0) L2スイッチ レシーバ (ID 1) トランスミッタ (ID 1) レシーバ (ID 1)

※ 初期設定では 169.254.0.0 / 16 の範囲でIPアドレスの自動設定と探索を行います。 ※ レシーバはチャネル (ID) が同じトランスミッタからデータを受信し映像を表示します。



ビデオウォール構成(レシーバの設定が必要)





チャネル (ID) の変更方法(コントローラ無し)

間接接続(TCP/IPネットワーク)



表示切替

受信したいソースに接続されているトランスミッタと 同じチャネル (ID) にレシーバを変更 ビデオウォール時も同様に表示内容を変更可能

設定方法

- レシーバ前面のロータリースイッチを回し、トランスミッタと 同じにし、B1ボタンを押してLink LED消灯
- ・ 再度B1ボタンを押しLink LED点灯



チャネル (ID) の変更方法(コントローラ有り)

間接接続(TCP/IPネットワーク)







トランスミッタ/レシーバ 共通設定



トランスミッタ / レシーバの設定画面

設定画面を行いたいデバイス(トランスミッタ、またはレシーバ)の IP アドレスをブラウザの アドレスバーに入力し、Enterキーを押します。





レシーバの IP アドレスの確認方法

モニタとレシーバを HDMI ケーブルで接続します。 (トランスミッタと映像ソースは HDMI ケーブルで接続しない)



Local IP にレシーバの IP アドレスが表示されます。 画面に何も表示されない場 合はHDMI ケーブルの接 続とレシーバの電源が入っ ているかを確認してください。



トランスミッタの IP アドレスの確認方法

モニタとレシーバを HDMI ケーブルで接続し、トランスミッタとレシーバをLANケーブルで 接続します。(トランスミッタと映像ソースは HDMI ケーブルで接続しない)



Remote IPに トランスミッ タのアドレスが表示されます。 Unknownの場合はLAN ケーブルの接続とトランスミッ タの電源が入っているかを 確認してください。



ネットワーク設定

System Video Wall	Network Functions
IP Setup	
IP Mode:	Auto IP DHCP Static
IP Address:	(From DHCP Server)
Subnet Mask:	(From DHCP Server)
Default Gateway:	(From DHCP Server)
	Apply

Auto IP(デフォルト) 下記の内容で自動設定 IP Address : 169.254.x.y Subnet Mask : 255.255.0.0 Gateway : 169.254.0.254

DHCP DHCP サーバから自動取得

Static 手動で設定

設定方法 利用したい IP Mode クリックで選択し、右下の"Apply"を クリックし、トランスミッタまたはレシーバの再起動を行います。





ersion Information:			
pdate Firmware:			
tilities:			
Commands			
Factory Default	Reboot		
Console API Con	nmand		
		Apply	
0			
Output			

System -> Utilities

L場出荷設定

"Factory Default"をクリックし、トランスミッタまたはレシーバを工場出荷時の設定へ戻します。

再起動

"Reboot"をクリックし、トランスミッタまたは レシーバの再起動を行います。





トランスミッタ固有設定



キャスティング(送信)モード

System Video Wa	II Network Functi	ons	
IP Setup			
IP Mod	e: Auto IP	DHCP Static	
IP Addres	s: 169.254.3.81		
Subnet Mas	k: 255.255.0.0		
Default Gatewa	y: 169.254.0.254		
			Apply
Casting Mode	Unicast		
			Apply

Network -> Casting Mode

Multicast(デフォルト)

トランスミッタと同じチャネルの全てのレシーバにマルチ キャスト通信で映像を配信するので、レシーバの数に 関わらず、トランスミッタから末端のスイッチの間は映像 1本分の帯域に抑えることができます。

Unicast

トランスミッタと同じチャネルの全てのレシーバと1対1 でセッションを張るので、レシーバの数に比例し必要な 帯域が増えていきます。 Multicastが利用できない ネットワークでは Unicast でお試しください。

設定方法

利用したい "Casting Mode" を選択し、右下の "Apply" をクリックし、トランスミッタを再起動します。

キャスティング(送信)モード



トランスミッタ 機能設定タブ 1

ons -> Video over IP	
Enable Video over IP HDMI ポートからの映像信号が IP 信号へ変換され	
e Video Wall 『側のみで適用される設定です。	
e Compatibility Mode	
ミ」済みの「VX-HDMI-POE」シリースと混住 用する場合にチェックボックスをオンにします。 触性を提供するためにトランスミッタがMulticast するアドレスが変更されます)	



トランスミッタ 機能設定タブ2

System Video Wall Network Functions Video over IP	Maximum Bit Rate Best Effort(初期設定)
☑ Enable Video over IP	帯域を制限したい場合は下記の中から選択します。 200Mbps 150Mbps 100Mbps
☑ Enable Video Wall	50Mbps, 10Mbps
Enable Compatibility Mode	Maximum Frame Rate
Maximum Bit Rate: Best Effort	HDMIホートから入力される映像信号のフレームレートを指定したパーセントまで間引きます。
Maximum Frame Rate: Capture up to 100% of frames	
C	設定方法 各項目の変更後に右下の"Apply"をクリックし、トラン スミッタを再起動します。





レシーバ固有設定





System	Video Wall	Network	Functions	
Video	over IP			
🗹 Enal	ble Video ove	r IP		
🗹 Enal	ble Video Wal	I		
Сору	y EDID from t	his Video Ou	utput (Default disabled under multicast mode)	
🗆 Enal	ble Compatibi	lity Mode		
Scaler	Output Mode	Pass-Throu	ıgh 👻	
Timeo	ut for Detecti	ng Video Los	st: 10 seconds	
🗆 Turr	□ Turn off screen on video lost			
			Apply	

Enable Video over IP LAN ポートからの IP 信号が 映像信号へ変換され、 HDMI ポート側へ転送されます。

Enable Video Wall ビデオウォール構成を利用する場合にチェックボックスを オンにします。

Copy EDID from this Video Output 出力先からEDID情報を取得し、保存します。

Enable Compatibility Mode

販売終了済みの "VX-HDMI-POE" シリーズと混在して利用する場合にチェックボックスをオンにします。



レシーバ 機能設定タブ2

ystem	Video Wall	Network	Functions	
Video	over IP			
🗹 Enal	ble Video over	r IP		
🗹 Enal	ble Video Wall	I		
Copy EDID from this Video Output (Default disabled under multicast mode)				
🗌 Enal	ble Compatibi	lity Mode		
Scaler	Output Mode	Pass-Throu	ugh -	
Timeo	ut for Detectir	ng Video Los	ost: 10 seconds	
\Box Turn off screen on video lost				
			Apply	

Scaler Output Mode Auto Detect (スケーリング有り) Pass Through (スケーリング無し) ※ 解像度をフルHDで固定にしたい場合は "1920 x 1080 60Hz"を選択します。

Timeout for Detecting Video Lost HDMI信号が受信できなくなった場合、最後に受信し た映像の表示を消すまでの時間です。

Turn off screen on video lost

オンの場合、モニタ側をスタンバイモードになります。 ※ モニタ側で省エネモードの設定が有効の時に限る

設定方法

各項目の変更後に、右下の"Apply"をクリックし、 レシーバを再起動します。



ビデオウォール設定1

System Video Wall Network Functions Basic Setup:	Basic Setup ビデオウォールを構成するモニタの実サイズと液晶サイ ズを入力することでベゼルの幅を指定します。	
Bezel and Gap Compensation ow: ow 1 ow 0H: Image: Compensation of the second se	 谷略する場合は "0" を入力 (1 = 0.1mm) OW:実サイズ(水平方向) OH:実サイズ(垂直方向) VW:液晶サイズ(水平方向) VH:液晶サイズ(垂直方向) 	
VH: 1 UNIT: 0.1mm		



ビデオウォール設定2



Wall Size and Position Layout

ビデオウォールを構成するモニタの枚数の入力をします。 Vertical Monitor Count : 垂直方向 Horizontal Monitor Count : 水平方向

対象のレシーバを表示するモニタの位置を指定します。 Row Position:縦方向の位置(0が最上段) Column Position:横方向の位置(0が左端)

Preferences

Stretch Type 映像をモニタの解像度にあわせ調整します。 Clockwise Rotate 時計周りに映像の回転角度を指定します。

各項目変更後に、変更対象のレシーバを選 択。"Apply"をクリックし、レシーバを再起動します。



お問い合わせはこちらへ ブラックボックス・ネットワークサービス株式会社

営業部 SALES.JP@BLACKBOX.COM

